

小室友里

YURI KOMURO

会話・しぐさでわかる

38

のサインと作法

女の 「OKサイン」を 見抜く技術

あなたは、女の
「OKサイン」を
見逃している!?



Smart
Books

勇気を出してお誘いすべきか、今日は見^{ケン}に徹すべきか？
一歩を踏み出せないジレンマ^{ふっしょく}を払拭し、
女性をベッドにエスコートするための洞察力を身につけろ！

あなたは、女の「OKサイン」を見逃している。

勇気を出してお誘いすべきか、今日は見^{ケン}に徹すべきか？

一歩を踏み出せないジレンマを払^{ふっしょく}拭し、女性をベッドにエスコートするための洞察力を身につける！

本書は、縦組みでレイアウトされています。

ご覧になる機種により、表示の差異が認められることがあります。

また、文中の敬称は省略させていただきました。

ご了承ください。

目次

まえがき 「したい」を見抜けば人生が変わる

第1章 誘いたいのに誘えない男たち

女性の本心が分からない

誘われなかった女性の心

据え膳でなければほどほどに

エッチしたい男の動作

第2章 デキる男の作法

女性の行動原理を理解しよう

引き出しをたくさん持っておこう

第3章 女性の「したい」の見抜く7つのポイント

(1) 食事

(2) 口・唇

(3) 行動

(4) しぐさ

(5) 言葉

(6) したくないサイン

(7) セックスが好きな女性の特徴

第4章 男女でこれほど違う考え方

バーに誘ってOKなら予選リーグ突破

女性は男のどこに興味を持つか

女性をその気にさせるには

第5章 失敗しない誘い方

女性を褒めながらタッチ

OKサイン

NGサイン

どっちつかずのケース

イエスと言わせる会話術

ポジショニングはゾーンディフェンスで

食事と性欲の関係

エスコートひとつで女性は濡れる

女性を白けさせてはいけない

あなたの感性を高めるには

6つの具体的な誘い言葉

勇気を持つとう

あとがき 失敗を恐れずにチャレンジしよう

お知らせ

著者

まえがき 「したい」を見抜けば人生が変わる

男性諸君！

あなたに気になる女性がいるとして、彼女の本音を知りたいと思ったことはありませんか？ もちろん彼女が、自分のことをどう思っているか、ひいては、女性と2人きりでお酒を飲んでいる場合なら、あなたとベッドインしてもいいと思っているかどうかです。

でもひよつとすると、彼女はどこかでOKサインを出しているかもしれませんよね。それをあなたが見逃していたとしたら？

それは、とてももったいないことです。

私が想像するに、おそらくほとんどの方が、女性とベッドインするタイミングや、女性の本音を知りたいという願望があるのだけれど、でも一方でそれがなかなか難しい、あるいは失敗を恐れて一歩踏み出せないというジレンマに陥っているのではないでしょうか。

ご安心下さい。もう恐れることはありません。この本では、女性であるわたくし小室友里が自らの経験（豊富だと自覚しております）と、友人たちからのヒアリングを元に女性たちの本音を赤裸々に綴^{つづ}っていきます。

全体としては、男女2人でお酒を飲んでいるというシチュエーションで話を進めていきます。また本書の内容は、お酒を飲んでいない場合にも当てはまりますから、いろいろな場面にも応用できると思います。

読み終えたとき、あなたは女性の「したい」サインがたちどころに分かっているようになるでしょう。もちろんこれは魔法などではなく、女性である私が女性の心理を詳しく解説することで、あなたにそれ相応の洞察力が身につくからです。

あなたが最後までこの本を読み終え、彼女をベッドにエスコートするテクニックが、自然に、かつスマートに身につけていることを、心から願っています。

第1章

誘いたいのに誘えない男たち

女性の本心が分からない

男女が初めてベッドインするシチュエーションとは、どのようなものでしょう。

一番よくあるのは、2人で飲みに行つていい雰囲気になつて、ホテルへ……というものではないでしょうか。

ここで想定する女性は、あなたが好意を抱いている女性をお酒にお誘いし、2人で飲むのは今日が初めてという状況です。おそらく多くの場合、彼女は同じ会社の社員、あるいは顔見知りの女性などでしょうか。

今まで合コンや社内の飲み会で一緒したことはあるけれど、彼女を思い切つて誘いOKをもらい、今日はウキウキしてやつてきた、というシチュエーションだと思います。

さて、今日のあなたは彼女とのベッドインを目標もくろんでいます。待つ間は、期待と不安が交互に交錯し、時に遠い稲妻のような閃光が心の底に走る……そんな感じででしょうか。

あなたは先にお店に行き、スマホをいじりながら待っていると、やがて彼女が入ってきます。店員さんとひと言二言会話をし、あなたを見つけると笑顔で手を振ります。そして席に座った途端、ふわっと漂う女の香り。

あなたは笑顔でも、緊張が始まる時です。

最初は居酒屋かもしれませんが、やがて会話も盛り上がつていい雰囲気になり、次はバーにでも行こうかという流れになるでしょう。

さて、本日の最終目的、すなわち彼女とスムーズにベッドインするにはどうしたらいいか？ そのためには、女性をよく知り、女性の「したい」サインを見抜かねばなりませんよね。彼女の表情、しぐさ、言葉、化粧、ファッション、あなたとの距離などなど、チェックすべき点は多々あります。

最近、「草食系男子」なんて言葉が流行語にもなりましたが、私は男性がそんなふうに言われることがとても残念です。

なぜなら、男として生まれた以上、女性を巧みに誘つて素敵なセックスをして、大いに人生を楽しんでほしいからです。

確かに恋愛には、楽しい面もあると同時に悩みもあります。ベッドインが恋愛の1つのゴールだとすれば、そこに至るまでのお互いの駆け引き、緊張、逡巡、嫉妬などは、苦しさはあってもどれもスパイスみたいなもので、適量ならば料理の味がピリツと引き締まります。ないと物足りず、多すぎるとくどくなる。

それを恐れる若い男性、あるいはあまり経験のない男性が、気になる女性とお酒を飲む約束をします。彼はきつと、こう考えるでしょう。

「今日は、2人でお酒を飲む約束を取り付けた。とっても嬉しいんだけど、そのあと、どうしたらいいんだろう」

「2人で飲むということは、すなわちベッドインしてもいいということだろうか」

「セックスに誘って断られたら嫌だけど、スムーズに誘う方法はないものだろうか」
と。

そこで彼女の表情やしぐさなどから心理を探ろうとするのだけれど、彼女の本音が分からない。ベッドインのお誘いを拒否されたら、嫌な思いをする。そこで、2人でお酒を飲んでいい雰囲気で盛り上がっても、最後の最後で、二の足を踏んでためらってしまうのです。

これは「草食系男子」でなくても、ほとんどの男子に共通しています。根本にあるのは、大切な彼女をそっとしておきたいというより、ベッドに誘って拒否されたら自分が傷ついてしまう。だから言わずにとどめ、防いでしまうという自己防衛です。

ガツガツしていると思われたくないし、エッチを拒否されたら嫌だと思ってしまうわけです。エッチを拒否されるのって、時には全人格を否定されたような気分になりますから。

でもこれはまだいいほうで、なかには、「恋愛は面倒だからしない」とか、「生身の女に振り回されるより、二次元の世界のほうがいい」という男性もいるようです。

私からすれば、まことにもつたいないことです！

だって彼女は、ひよっとしたらOKなのかもしれないんですもの。あなたがベッドに誘ってくれることを最初から期待しているかもしれません。そうでなくても、雰囲気や成り行き次第で、あなたにすべてを許してもいいと思っている可能性だってあります。

それを、男性であるあなたが見抜けなかったために、せつかくのチャンスを逃してしまうなんて、惜しいというよりむしろ残念と言わざるをえません。まして恋愛しないだなんて、人生の最も大切なものから目をそむけているようなものです。男子の本懐はどこへ行ってしまったのでしょうか？

誘われなかった女性の心

反対の立場である女性の側から、同じシチュエーションについて考えてみたいと思います。

あなたが彼女と2人でお酒を飲む約束をしたとして、彼女がその気になって来たときのことを考えてみます。もちろん、どんな場合でも当てはまるわけではありませんが、彼女が「今日は許しちやってもいいかな」と思いつつ来たときの場合です。

ここで肝心なことは、男は、その気になっている女性を必ず誘わなくてはならない！ ということです。

それは何故か。

恋愛の主導権を握るのは男女のどちらかであって、必ず男性とは限りません。しかし、ことベッドインするにあたっては、それも初めてであれば、主導権は男性にあります。それは女性がどんなに社会的に男女同権を獲得したとしても変わらないことであって、生物としての男女の役割だからです。

野生動物が子孫を残す場合、オス同士が戦い、勝ったオスがメスと交尾し、子孫を残すことを許されます。人間はそこまであからさまではありませんが、メス♀女性が「待つ」という点においては変わりません。つまり女性は、「したい」と思っている、待つしかない生き物なのです。

そこで男性が誘わなかったら、女性は思うでしょうか。

彼女は、ひどく自尊心を傷つけられるに違いありません。

「せつかくその気で来たのに、誘ってくれないなんて」と、女性としての存在価値を否定された気持ちになります。

彼女は、自分には女としての魅力がないものだと思います、落胆するでしょう。しかも彼女の期待が大きければ、寂しさを通り越し、怒りに昇華します。そうしないと、誘われなかった「情けない自分」を納得させられないのです。

女性から「抱いて」とは言えません。「まだ帰りたくない」とか「眠くなってきた」という婉曲表現でしか、彼女たちはその気であることを表現できないわけです（これらのキーワードについては、のちほど詳しく解説します）。

そして、怒ったまま一人終電で帰る彼女。その心境は察するに余りあります。当然、そんな男は嫌われてしまいますよね。「あんな鈍感な奴、一度と会わない」と。あなたの前で八つ当たりしなくても、彼女は、しばらく2人きりで会ってはくれないでしょう。最悪の場合、もう会ってくれないこともあり得ます。これは、女性の自尊心を著しく傷つける、男として恥ずべき行為に他ならないのですから。

そしてあなたが再び彼女を誘ったとしても、返ってくるのは、そっけない言葉と態度。そこであなたは疑問をいだきます。

（ついこの前、2人で飲みに行ったばかりなのに、このそっけなさとは一体どうしたことか）
と。でも何度誘っても、彼女はつれない返事ばかり。

「約束があるから」

「仕事で忙しいから」

もちろん彼女は、期待していたことなど言うはずありません。そしていつしか彼女は、他の男性の恋人になり、以前より美しく輝き始めるのです。それを目にしたあなたは、彼女の魅力に改めて気づくに違いありません。そのうえ、彼氏になった男性を見かけて、おそらくこう思うのです。

（俺のほうがいいじゃないか？　なんであんな奴と……）

こうしてあなたは、大事な場面で誘わなかったために、彼女を傷つけたばかりか逃してしまったことを、永遠に理解できないのです。

これを読んで、「そういえば、あの時の彼女がこれだった」と思い当たる方もいることでしょう。

そう、古くから言われているように「据え膳食わぬは男の恥」なのです。この言葉を初めて聞くという方もいると思いますから、簡単に説明します。

まず据え膳とは、据えられたお膳、つまり「食べていいよ」と用意されたお膳のことです。すなわち、その気になっている女性のことですね。それを目の前にしながら食べない（抱かない）のは男の恥である、男として情けないという意味です。私は、これは恥というより、到底許せない行為だと思います。

しかしながら、「据え膳食わぬは……」は、今ではあまり聞かれなくなりました。ひょっとすると若い世代では、嫌いなものは食わない、面倒臭いのは嫌、恋愛感情がからんでくるといふようなものがついてくるから面倒という考えが蔓延してきているのかもしれませんが。「若者のセックス離れ」なんて言葉もありますしね。

しかし、私が「夜の性生活相談員」として活動している過程で痛切に感じるのは、性別や世代にかかわらず、輝いている方は皆、いい恋愛をしていることなんです。

いい恋愛を、いいセックスと言い換えても同じです。せつかくこの世に生を受けてきたのですから、いい恋愛といいセックスをして、人として輝き、大いに人生を楽しみたいですよ。私はそういう人が大好きです。

男という性は、相手が誰でもセックスできるという特徴があります（そうでなければ、風俗という産業は成り立ちません）が、女性は好きでなければダメなんです。そういう心理で来ているのに、誘われなかったらもう、怒るしかありませんよね。そこは何度も強調しておきたいと思います。

据え膳でなければほどほどに

ただし、注意点はもう1つあります。

それは、その気になっていている女性は誘わなくてはならないのと反対に、その気でない女性を無理にベッドに誘うのもご法度であることです。

2人でお酒を飲みに来たからと言って、それが必ずしもOKとは限らないのです。彼女があなたと出会って日数が浅かったり、あるいは慎重であったり、中にはお酒を飲むためだけに来ていたり、などの場合も考えられますよね。

この見分け方はのちほど解説しますが、要は、女性がその気であればお誘いOK、その気でなければほどほどにするか誘わない、ということになります。そう書くともますます混乱してしまうでしょうか。でも難しいことはありません。お酒の席で、女性がその気になっているかどうかを見抜ければいいだけなのです。

エッチしたい男の動作

さて、あなたは彼女とあわよくば……と思いつつお酒も進み、いい雰囲気になってきました。ここで注意すべきことは、実は居酒屋でもバーでも、女性は途中の雰囲気から、男の「したい」がかなり分かっているのです。それは、男性の次のような態度、しぐさに出てくるからです。男という性は、こういう点でとても単純です。

- ・ そわそわしだす
- ・ ふわふわしてる
- ・ 会話が上の空
- ・ ちょいちょいスマホを弄りだす
- ・ タバコの本数が増える
- ・ タッチが多くなる
- ・ 会話の内容や距離感が縮まってくる

これらの点に思い当たる男性も多いかと思います。いつ、どう言つて彼女に誘いをかけるか、その話を切り出すタイミングが難しくて落ち着かず、そわそわして、彼女の話も上の空、足が地につかない状態ですね。視線も定まりません。

ここでは是非知っておいていただきたいことは、彼女はそういうあなたの変化を敏感に嗅ぎ取っていることです。すると次のステップはどうなるでしょう。

彼女が身構えるのです。「いつ、どんな言葉で、今夜は誘われるのかしら」と考えるわけです。もちろん彼女にも、期待や不安はあるでしょう。でも少なくとも、2人きりでお酒を飲むことを承諾したということは、あなたへ好感を持っていることは間違いないありませんよね。それに女性は雰囲気弱いのですから、そこであなたが場を盛り上げ、楽しい時間を過ごすことができれば、女性は落ちてしまうものなのです。

しかし、そこであなたが誘わなかったら？ 彼女が怒るのは当然ですよ。何と罪なことでしょうか。

でも、一方であなたはこう思うでしょう。「まず、誘っていいかどうか分からない。また、そのタイミングも難しい」と。

そうですね。では次は、女性の行動原理とOKサインについて、具体的に解説していきたいと思います。ここは何度も熟読して、今後、実際の場面では絶対に見逃さないようにして下さいね。

〈サインと作法〉

- 誘わない男性は、女性を傷つけている
- 女性がその気になっているのを見逃したら、次はない
- 昔から言う「据え膳食わぬは男の恥」は紛^{まご}うことなき真実である
- 女性は、男性の「したい」をととの昔に察知している

第2章

デキる男の作法

女性の行動原理を理解しよう

これをお読みになっっているのは男性が多いと思いますが、女性を理解するうえで、まずは恋愛における女性の言動を理解しておいていただきたいと思います。

特に、「初めて」という状況において、女性は自らの想いをストレートに伝えないものです。ですから、今夜一緒にいてもいいよという意志表示をするときでも、「帰りたくないな」とか「眠くなってきた」などの言葉で表現するものです。間違っても「今夜お泊りしよう」とか「したい」などとは言いません。

もし、実際にそう言われたらどうでしょう。ほとんどの男性は怯^{ひる}み、とたんに引いてしまいますよね。それまで、どれほど彼女を抱きたいと思っていたとしても、このひと言で、酔いどころか、百年の恋まで冷めてしまうに違いありません。

その理由は、人間とは社会的存在であるからであって、簡単に言えば、男女共に役割を求めているからです。やはり女性は奥ゆかしくて、恥じらいと神秘的な部分を持っていてほしいですね。それをリードするのは男の役割なのです。

男は女性を知恵を振り絞って楽しませ、喜ばせ、リラックスさせ、ベッドインに持ち込もうとする。一方の女性はそんな男性との会話を楽しみながら彼を観察し、信頼できるかどうかを静かにチェックするわけです。

したがって女性は、自ら「したい」とは絶対に言いません。でも、女性として「抱かれない」という欲求は持っていますから、男性が「しよう」と言うように仕向けるのです。

すなわちそれが、女性が放つ「したい」オーラであり、言葉であり、チラ見せするなどのしぐさであるわけです。

「デキる」男は、このあたりをきちんと理解しています。また女性からのさりげないOKサインを見逃しませんから、失敗ありません。

その一例として、「間（ま）」をあげてみましょう。

女性と2人でお酒を飲みながら会話をしている、ふと話が途切れることがありますね。間、あるいは沈黙です。でも必ずしも、沈黙を恐れることはありません。

一口に沈黙と言っても、いい沈黙と悪い沈黙があると言えます。見極めポイントとしては、沈黙したときに女性の顔を見て視線が合ったり、女性が微笑んだりしたらOK。視線が合わないか、そらされたらNGだと言えます。

確認すべきは表情ですね。

でも、そんな他力本願ではなく、沈黙はチャンスととらえて、話の方向転換をする機会でもあります。そこで女性ウケするテクニクもありますので、それについては後述いたします。

引き出しをたくさん持つておこう

デキる男は、話の転換が実に上手です。ただし言えることは、転換するためには、幾つもの転換ポイントを持つておくことです。言い換えれば、話題という引き出しを普段からたくさん用意しておくことが大切です。

そのためには、彼女の趣味嗜好、音楽の好み、好きなファッションブランドなど、彼女に関する情報はなるべくたくさん知っておきましょう。

これも大切な情報のうち。デキる男は、そのあたりも自然にマスターしています。さらにはスマホアプリといった、今トレンドとなっている情報をたくさん知っていること。時事問題などに精通していれば、さらにいいですね。

男の行動の根本原理は何でしょう。簡単に言えば、世の中には男と女しかいないからですが、もっと端的に言えば、男が女を求めることこそ（その逆も同様です）、人として生きる大きな原動力ではないでしょうか。

歯に衣着せぬ発言で有名なある高名なタレントが言っていました、「男が勉強や仕事をがんばるのは、とどのつまり、いい女とエッチしたいからだ」と。

この言葉には、非常な説得力があります。結果を見て言うわけではありませんが、有名スポーツ選手やミュージシャンの結婚相手を見ていると、それも一つの真理だと思わされます。

仕事とは、続けているとそれ自体が目的になることも多いですが、やはり仕事だけではなく、遊びも大いに楽しみたいものですよね。一所懸命仕事して、思い切り遊び、いい恋愛をする。それが人間らしい生き方だと私は思います。

〈サインと作法〉

- セックスに誘うのは男の役割であつて、女性がしてはならない
- デキる男は「したい」オーラを見逃さない
- 彼女に関する情報は事前にリサーチしておこう

第3章

女性の「したい」の見抜く7つのポイント

では、女性は食事やお酒の席で、「したい」サインを具体的にどのようなように出しているのでしょうか。それを、状況や行動別に解説していきます。これをしっかり覚えておけば、彼女をベッドに誘うのに失敗することは、まずありませんよ。

(1) 食事

2人で食事をする際、彼女の料理の好みを観察してみましょう。そこで、次の料理を好む女性は、「したい」サインを出していると言えます。

- ・肉料理を食べたがる
- ・蕎麦はめかぶやとろろなどのネバネバ系を食べたがる
- ・酸味の強いドリンクや食事を選ぶ
- ・半熟玉子が好き
- ・食事中「それ食べさせて」と言う

・ちようだいって言っていないのに、自分が食べているものを食べさせてくれる

まず肉料理は、「肉食系女子」と言わずとも、パワーがあふれ、女性が前向きである象徴であると言えます。

ネバネバ系や半熟卵は、とろろりとしているところがセクシャルなイメージを喚起させるのに有効です。もちろん嫌いでは食べられませんが、とろろりとしたところが、お風呂やセックスの一場面を想像させるのに一役買っています。セクシャルな雰囲気を狙って、彼女があえてそれを選んでいる可能性も否定できません。

同じ料理を2人で分け合うのも、親近感を表現する一つの手段です。和食や洋食の多くは簡単に分けることができますが、ラーメンなどの汁もので、「ねえねえ、それ味見させて」と、レンゲを入れてきたりすると、彼女からの親密さアピールはグッと上がります。

さらには、2人で違う飲み物を注文した場合、「このカクテル、変わった味がするわ。飲んでみない？」とあなたにグラスを渡してきたら、これはもうほぼOKサインと言って間違いないでしょう。

飲み物アイテムで「したい」オーラが全開なシチュエーションは、「それ、飲ませて」と、あなたの飲み物をおねだりして、口をつける位置をまるで意識せずに飲むことです。さすがにこれは、私が言わなくても分かりますよね。

これをされたとき、男性は一樣にびっくりします。一瞬慌てますが、次に嬉しさがじわじわとやってきますよね。それを表情には出さなくても、彼女はあなたの嬉しさが分かっています。

これが出たら、次はあなたの出番です。「もう1回飲ませて」と言い、彼女のグラスを再び借りて飲んでみましょう。そこで彼女が動じなかったら、もう完全OKです。

ベッドインを前にして、最もワクワクするひとときですね！

(2) 口・唇

女性は口紅を塗ってお口を強調しますが、ここは非常に分かりやすいセックスアピールです。それは誰でもご存知ですよ。色を変えたり、光沢を出したり、厚めに塗ったりすることで、顔の印象はかなり変化します。ですから、彼女のお口の動き一つ取ってみても、そこには女心が隠されているのです。具体的にあげてみましょう。

- ・飲み切ったドリンクのストローをずっと咥^{くわ}えている
 - ・自分の唇を指でずっとなぞっている
 - ・閉じた口の中で舌を動かしている
 - ・顎を突き出して唇を強調した表情を見せる
 - ・リップグロス（口紅上に塗る光沢）をしている
 - ・あひる口をしたり、口を尖らせたり、唇の表情が豊かになる
- いずれも、セクシャルアピールです。特に、ストローを咥^{くわ}えている、舌を動かしているの2点は、フェラを模した動きです。唇をなぞるのも、女性器を愛撫する象徴に見えなくありません。
- また、彼女がトイレに入ってばっちり口元の化粧を直してきたら、やはりGOサインです。繰り返しますが、女性は自分から「したい」と言えない分、これら行動によって男が誘う雰囲気を作っているのです。それを見抜けるかどうか、できる男かどうかの分かれ目ですよ。

(3) 行動

次は、もっと分かりやすい女性の行動についてです。「したい」サインとしての行動は、食事内容や唇よりもある意味分かりやすいものです。何故なら、ここでは女性があなたにタッチしてくることがあるからで、具体的には次のようなものです。

- ・体を寄せてくる
- ・肩に顔をのせてくる
- ・使っているハンカチやリップクリームを貸してくれる
- ・会う時に束ねていた髪を、デートの途中でほぐく
- ・「手を見せて」と言い、あなたの手を撫でる
- ・心理テストをしたがる
- ・胸を強調してくる

いかがでしょう。かなり具体的に親密さをアピールしてきていますよね。ここまでくればもう、ほぼOKのサインと思つて間違いありません。わけでも、体を寄せてきたり、肩に顔を乗せてくるのは、あなたが彼女にタッチしたいのと同様、彼女もあなたにタッチしたい心の表れです。

逆のことをすれば、ややもするとセクハラになってしまうですが、女性からそうされて嫌な男は、まずいませんよね。

肩に顔を乗せてくると、彼女からはふわっとした香りが漂い、あなたを包み込むでしょう。お酒を飲んで火照った彼女の体臭と、香水やコンディショナー、化粧品の入り混じった香り。男が普段生活するうえでは決してありえない、上品でフェミニンで甘い、鼻腔をくすぐる香り。実は香りというのは、五感のなかで最も性欲を刺激するものなんです。彼女もそれは計算済みで、あなたをその気にさせるつもりなのかもしれませんよ。

ハンカチ、リップクリーム。とくに後者を貸してくれたら嬉しいですね。ちよつとでも使えば、もう間接キスをしたようなものですし、「キスして」のサインであることに疑いありません。

髪をほぐしぐさは、心の防壁がなくなつた証拠でもあり、「髪型で変わる私を見て」ということでもありますね。彼女はかなりリラックスして、あなたに心を許しています。

また、手を見せてというのは、男性の大きな手に萌える女性の心理であると共に、手を握りたいという願望から出ています。好きな人の手を握りたいというのは、男女に共通した心理ですね。彼女があなたの手を触ってきたら、思い切って、彼女の手を握ってしまってもいいかもしれません。そこで彼女が引かなければまずOKサインです。手を握り、じつと彼女の目をみつめてみましょう。言葉は不要ですよ。

そこで思わず吹き出してしまうかもしれないませんが、これは爽やかな笑いですよ。手をつなぐと、ぐっと心が近づきますから、今度は「恋人つなぎ」をしてみたり。ここまできたら、ベッドインはもう、時間の問題です。

(4) しぐさ

さて、女性も酔いが回ってくると、徐々に大胆になってきます。ただしその前提となるのは、あなたに好感を持っており、場合によってはあなたに許してもいいと思っていることです。そうでない場合もありますが、ここでは女性が「したい」願望を持っている場合について記述します。

・自分のアピールしたい部位を強調してくる

ここではまず、彼女のファッションに注目する必要があります。例えばスカートの丈が短いかどうか、色は？ デザインは？ 胸元は？ マニキュアは？ チェックポイントは多々ありますので、それは後述します。

最近のトレンドでは、片耳かけ（耳アピ）の女性が増加中なのをご存知でしょうか？ 片方の耳は隠して大人アピール、片方は出して若々しさをアピールするもので、アンビバレントな、二面性のある新鮮さがあります。彼女がこの髪型をしていて、あなたに双方を見せてきたら、一種のセクシャルアピールと考えて間違いありません。

「耳出しているのと、隠しているの、どっちがいい？」と聞かれるかもしれません。聞かれたら、黙って見つめてみましょう。すると「なによ、どうしたの？」と彼女は言うでしょう。あなたは

「どっちもいいね」と言うか、

「ここをもうちょつと変えてみたら？」と言って髪の毛に触ってしまうのです。あるいは「かわいい耳だね」と、ほんのかすかに触れるのです。彼女はピクンとしてしまうかもしれません。

ただし、髪の毛は女性にとって自分の分身のようなものですから、アピールでなしに単に髪の毛を触っていたとすれば、それは退屈のしるしです。別のことを考えていることがほとんどでしょう。両者の違いを見分けるポイントは、前述した彼女の唇、行動、あなたからの距離です。

・体を強調してくる

女性は誰でも、男が女のボディに非常な興味を持っていることを理解しています。それを利用して、「したい」と言えない代わりに、スカート丈を短くしてカウンターの椅子に座り太ももを強調することもあります。もちろん、あなたの目色が変わるのも計算済みですよ。あるいはトイレ休憩で胸元を寄せ、盛って戻ってきたり。ブラひもが見えるような角度に座りなおしたり。

さらには、「最近ちよつと肩凝っててさあ〜」と言って肩を近づけてくるなんて迫り方もあります。軽く揉んであげましょうね。

これらはいずれもOKのサインで、それも早く誘ってほしい場合に他なりません。

・やたら目が合う。さらに、自分から目をそらさない

目が合うということは、彼女もあなたを見たがっていることに他なりません。またそれは、彼女の関心が、お店のどこかや他の男性でなく、あなたに集中していることを意味します。目が合う回数が多くなったら、自信を持ちましょう。

でも、彼女が退屈になると、あなたの目を見なくなります。理由は言うまでもありませんね。

・脚を頻繁に組みかえる

女性が脚を組みかえることには諸説あり、逃げ出したいからとか、左右どっちの脚が上であるかによって心理が違う、などと言われていますが、動作そのものをよく考えてみると、これはすなわち「落ち着かない」ことの表れであると言えます。つまり脚を頻繁に組みかえるということは、いわば自分の立ち位置・スタンスが決まらないと言うか、今の場をどうしていいか分からないということから生じる仕草なのです。

それにひよつとすると、彼女の脚の中心！ が、もぞもぞ落ち着かないのかもしれないかもしれませんよ（笑）！

実際女性は、したくなるとデルタ地帯の奥、子宮のあたりがもによもによするんです。これは私がそうですし、私のお友だちもそう言っています（笑）。入り口あたりがしつとりしてくるのは、そのあと、さらに「したい」願望が強くなっているからですね。

なお、排卵期が近くなるとしたくなる女性も多いです。PMS（月経前症候群）で体調が悪くなる女性も多いですが、したくなる時があるのも事実です。

・瞬きの回数が増える

まばたきは目の表面が乾燥するのを防ぐ働きもありますが、心理的には、女性があなたに好意や愛情を示していることを表わします。何故なら、化粧した女性の一つのチャームポイントは目元であり、そこを頻繁に動かすことは目元に注目してほしいという心理を示していると考えられるのです。

そんな彼女の目を見ると、こつちをじっと見て……につこり微笑んだら、言葉は要りませんよね。目は口ほどにものを言うのです。先を急ぎましょう。善は急げです。

このように、女性の行動について解説しましたが、その基本となるのは、女は言葉ではなく態度で示すという、女性特有の行動パターンです。「言わなくても分かるでしょ？」が基本のスタンスです。さらに言えば、初めてのベッドインというシチュエーションにおいては、自分から誘うわけにはいきません。そうしたら男性は引いてしまいますし、やる気満々でいたとしても一瞬で萎えてしまいますから。男という生きものは、神秘的で淑^{しと}やかな女性を何とか口説き、最初は恥じらいつつも、やがて彼女があなたの腕の中で燃え上がることに喜びを感じるのです。

(5) 言葉

前のパッセージで書いたように、女性は言葉よりもぐさで自らの意志を示すことが多いです。でも時には、ストリートに言葉で発することもあります。例えば次の言葉は、私や私のお友だちが男性に言って、ウケが良かった一例です。

「あなたと付き合えばよかった」

「一緒にいて安心する」

この2つは、むしろストレートな言い回しですよ。女性が言う言葉としては中程度のアピールだと思っていなくてもいいかもしれません。ただこれらの言葉は、あくまでも付き合うとか、一緒に時間を過ごすのが心地いいということであって、ベッドでどうかというレベルまでは到達していません。

「私ちよつと疲れてるのかも」

「私って、押しに弱いタイプなんだよね」

これはさらに進んだレベルです。「疲れてる」休みたい「ベッドに行きたい」という暗示にも考えられますね。「押しに弱い」というのも、「ここで押してよ!」というわかりやすいサインです。ただし、話の内容が過去の恋愛話などで

あつて、彼女がそう言ったときにあなたの目を見ていなければ、単なる昔話に過ぎません。言葉だけでなく彼女の視線やしぐさ、雰囲気ですべて総合判断しましょう。

「眠くなつてきちゃった」

これは、ほぼOKと言つていい言葉ですが、滅多に聞けるものではありません。「眠くなつてきちゃったから、帰ろう」というのはよくあることですが、女性はそうそうストレートな言い方はしません。ということは、「眠い」というだけでそのあとに言葉が続かないのは、どこかに連れてつてという意味と受け止めて間違いないでしょう。

さて、私小室友里は、好きな男性とお酒を飲みに行つて、この人と一晩過ごしたいというときは、あの手この手でそれをアピールします。それから、セックスをエサにしちゃいます。

まずは男性に「お手！」と言うとほとんどの方は素直に手を出します（笑）。もちろん命令調でなく優しく言いますよ。そこで私から手を握ると、男性は一瞬びっくりしますよね。でもそこで引かず、「私はこの手をずっとつないでいたいと思つているのよ」と言っちゃいます。ストレートでしょう？ 女性の性格や仕事にもよると思いますが、こんな大胆な言葉で言われたら、逆に燃えてしまう男性も多いですよ。

片耳かけと同じで、人って意外な二面性を見せられる興味がわきますし、男性はお淑やかな女性と同じぐらい、内心ではエッチな女性も好きなんだと思います。

あなたが一緒に飲む女性が年上の場合、そう言われるかもしれませんが、

言われたらどうします？ もちろん、GO！ ですよね。据え膳食わぬは男の恥ですから。

（6）したくないサイン

ここまでは女性のしたいサインを解説してきましたが、反対に、したくないサインを知っておくことにも大きな意味があります。イエスの例はこうだ、イエスの場合はこうしなさいということばかり分かつていても、「ノー」のときにどう対処すればいいかも知つておかないと、女性を理解したことにはなりませんよね。

『彼を知り己を知れば百戦殆うからず』^{あや}なのです。

・トイレに立つ回数が増える

お酒の席で、女性がトイレに行く頻度には大きな意味があります。もともとお酒を飲めばトイレは近くなるのですが、あまり頻繁に行くようであれば、それは退屈していることを表します。いわば逃避行動。あなたとの会話がつまらないから、トイレに逃げ込んでいるのです。

・トイレに携帯を持っていく

中でも要注意なのは、トイレに携帯電話やスマホを持っていく場合です。バッグごと持って行けばもちろん携帯は入っていますが、携帯だけ持っていったって、不自然に長い時間戻ってこなければ、メールやラインで他の人と連絡を取っている可能性がきわめて高い。

でも、いいトイレ休憩もあります。あなたの話が途切れたとき、「ちよつとごめん」と彼女が言って、化粧を直して戻ってくる場合です。彼女はあなたから、より綺麗に見られたい願望を持っています。

それからトイレ休憩というのは、話が途切れることでもあります。戻ってきて、彼女の話が「私、眠くなってきたわ」などとあなたを誘うような場合であったり、「そう言えばこの前ね……」と身を乗り出して会話が始まったりする場合は、脈ありと思っていいでしょう。

そのほか、以下にあげるのは女性が退屈しているしるしで、彼女は早く帰りたいと思っている可能性が高いでしょう。

- ・時計を気にする
- ・視線を合わせない、視線が宙を向いている
- ・指ばかり触っている
- ・前髪をやたらと気にする
- ・ずっと自分の髪をいじっている
- ・氷をカラカラまわしだす
- ・お酒のおかわりをしない
- ・周囲を気にする
- ・うつむき加減になる
- ・携帯電話やスマホをいじりだす

- ・口元を手で隠す

口元を手で隠すのは、心の内を知られたくないとか、退屈していることの表れです。

なお、彼女が明日の話をししたら、撤退のタイミングです。「あした早いんです」とか、「明日は重要なミーティングがあつて、これからその準備を」などと切り出されたら、その日は諦めましょう。

たとえば彼女があなたに好感を持っていたとしても、明日は本当に大事な日なのかもしれませんよね。暗に「帰ろう」と言っているのに、なおずると時間を延ばせば、好感度も下がってしまうでしょう。「勇気ある撤退」も、時には必要です。

(7) セックスが好きな女性の特徴

7つ目のポイントは、今日、彼女が臨戦態勢で来ているかどうかの判断基準です。次の例を参考にして下さい。

- ・髪型をガラリと変えてきた
- ・普段より少し派手目なファッションでデートに来た
- ・胸元が開いたファッションである
- ・ファッションが派手目、あるいは赤系
- ・普段つけないアクセサリーをつけている
- ・ミニタイトスカートを履いてきた
- ・メイクが普段より少し濃い、あるいは華やか
- ・口紅の色が濃い目、赤系
- ・ハイヒールを履いている
- ・普段より少し香水が強い

これらは、普段から派手目の女性であつても、デート時の変化はよく注意して見れば分かることです。その変化に気づくかどうかもまた、大切な分かれ目ですよ。それにひよつとしたら、彼女は勝負下着をつけて来ているかもしれません。それを見ることができかどうかは、あなたのテクニクにかかっています。

〈サインと作法〉

- 食べ物のシェアは、好感を持っている証
- 同じカップに口をつけたら、ベッドインOKのサイン
- 女性の唇は、目ほどにものを言う
- 彼女が距離を詰めてきたら、心理的距離も狭くなっている
- ボディタッチされたら、手を握ろう
- ボディを強調してきたら、早く誘ってほしいサイン
- 片耳かけの髪型は、男性に二面性を見てほしい心理の現れ
- 遠回しな言い方に本音が隠されている
- 表情、しぐさ、視線に注目しよう
- トイレ休憩時の携帯電話は、重要な判断アイテムである
- 明日のことを切り出されたら、ただちに撤退しよう
- 女性の化粧とファッションにおける微妙な変化を見落としてはならない

第4章

男女でこれほど違う考え方

バーに誘ってOKなら予選リーグ突破

ここまで、女性がしたくなったときのサインや、したくないときのサインなどについて解説してきました。ここで改めて、男女が2人でお酒を飲みに行くというシチュエーションを考えてみましょう。

女性からすれば、嫌な男と2人きりで居酒屋などへは行きこそすれ、2軒目でバーには行きません。何故なら照明は暗いし、いかにも大人のムードあふれる空間ですからね。つまりバーまで行ったあなたは、予選は突破しているわけです。

しかしそこからどう攻めるかが問題なのであって、その状況におけるあなたの行動と考え方が、勝負の成否を分けるのです。

女性は男のどこに興味を持つか

性別が違うと、ものの考え方や行動パターンというのは驚くほど変わるものです。2〜3歳の小さい子どもで早くもそれは現れており、着るものやおもちゃの好み、遊び方は性別によつて非常に違います。子供をおもちゃ売り場に連れて行くときよく分かるのですが、男の子は、乗り物や戦隊ものが好き、女の子はキラキラしたアクセサリーやドール系が好きですよね。

それと同様、新たに男女が知り合った場合、男性が女性を見るときは、「この女、裸にしたらどうなんだろう。胸は、お尻は……それからエッチのときの反応は……」というように、女性のセクシャルな面にもつぱら感心が集中してしまします。しかし、女性は気になる男性が現れた場合、全く別の次元で男性を観察しています。

女性は、「この人、私と2人になったら、どういう会話して楽しませてくれるんだろう」とか「デートしたら、どういうところへ連れて行くんだろう」という関心の持ち方をします。そしてその内容や楽しさによつて、自分への愛情や思いの強さを知るといふ手順を踏みます。

いわば男の関心が初めからカラダであるのに対し、女性が重視するのは、男性のエンターティナーぶり、デートする一日をどうコーディネートするかという企画力なのであって、その内容次第では、体を許してもいいかなと思っっているのです。端的に言えば、エッチすることが最初から目的の男、エッチは一つの結果である女、というわけです。

女性をその気にさせるには

女性を誘うにあたり、はじめにこれを理解しておかないと、お酒であれデートであれ何度デートしても、ものごとはいまうまく運びません。

したがって、「したい」サインを見抜くことの前にあなたに求められることは、そうした女性の心理をよく理解し、スマートに振舞い、「したい」サインを上手に導き出すことです。その延長線上にベッドがあるのであるのです。

ベッドインはあくまで結果。女性にとってはこれが理想の流れであることを知っておきましょう。

〈サインと作法〉

●セックスは男にとって大きな目的、女にとっては大切な過程の先にある結果

第5章

失敗しない誘い方

女性を褒めながらタッチ

ここまで、あなたは女性の「したい」サインについて学習してきました。では、ここからは女性を褒めることを実践してみましよう。具体的には、パーツを褒めるのです。

「肌・指・声がきれいだね」とか「そのファッション好きだなあ」とか「センスがいいね」などです。

ただし、「化粧が上手だね」は言うてはいけません。何故ならこの言葉は、暗に「素顔はそうでもない」と言っているのに等しいからです。闇雲に何でも褒めればいいというものではありませんね。

そうしてパーツを褒めながら、その部分に軽く触れてみましょう（ピアスなど）。会話で彼女との心理的距離を縮め、手を握り、髪型を変えてみようかと今度は耳にも触れてしまうのです。

敏感な女性なら、そこでピクリと身を震わせてしまうかもしれません。でもあなたはそこでエロい反応をしてはなりません。あくまで冷静に、「こういう耳の形はね……」とか「人間の耳って本当は動かせないんだけど、僕は動かせるんだ」と言って彼女の感心を引ければしめたものです。引き出しの多さですね。

OKサイン

さて、あなたと彼女は2軒目のバーにいます。いよいよ核心に迫ってきましたが、1軒目からがつついては女性はいっかかりガードしてしまいますから、あくまで2軒目で。

あなたも彼女もほろ酔い気分がいい気持ちです。そういう状況で、さりげなく誘いの言葉をかけてみましょう。背景に流れるのは、静かなジャズピアノ。

女性がしばしの沈黙のあと、「いいわよ」と言うこともあるでしょう。下を向いたまま、黙って頷くかもしれません。

しかしなかなか、こんなはつきりした返事はないもので、多くの場合は、「どうしようかな」という返事が返ってくるのではないかと思います。これは、もうワンプッシュですね。「だけど」「でも」も同じで、もう一押し。ひたすら攻めることです。ただし、優しく。

それと、時刻もここでは重要なファクターになってきます。夜10時で「どうしようかな」はフィフティフィフティですが、11:50で同じ言葉は、ほぼOKとみなしていいでしょう。

「眠くなっちゃった」のあとに何も言わないのも、OKのサインです。

また、女性がピアスなどのアクセサリーを外すのもゴーサインです。カウンターに座った彼女が、あなたを見つめながら、そっとピアスを外す……。映画に出てくるようなシーンですが、あながちないとも言い切れません。そんな想像するだけでも、楽しいものですよね（笑）？

それから、アクセサリーを外すという動作は、体の鎧を外す＝セックスしてもいいということでもあります。男なら、先に腕時計を外しましょう（デートの時には必ず高級腕時計をつけていきます）。外す音や姿、置く音に萌える女性もいるのです。

化粧も大切なチェックポイントです。OKサインとしては、トイレから戻ってきたときにリップグロスが丁寧に塗られている、化粧を直して出てくる……。これらはOKサインですね。カウンター席で、スカートがずり上がって短くなっても気にするそぶりをしないのも、同様です。

NGサイン

今までは未来に期待を持てる例を書いてきましたが、そうでない場合もあります。どんなにモテる男性でも、連戦連勝ということはありませんから。次のような言葉が返ってきたら、そのときは潔く諦めましょう。

・「明日早い」「眠いから帰ろうかな」

これは明らかにだめです。したくないサインであって、これ以上の展開はありません。

・「今日はやめとく」

理由を尋ね、「なんとなく」といったそっけない返事なら、先はありません。速やかに撤退しましょう。

どっちつかずのケース

・「嫌いじゃないけど」

「けど」とはすなわち、迷っていることを表わしています。もう一押し、攻めるしかない一方で、一つのことを考慮する必要があります。それは、「けど」のあとには何が続くのかということです。それを見誤ってはなりません。

最も多いのは、「ベッドインするには、私たちまだ早いんじゃない？」というものです。何故なら多くの女性は、自分が軽い女だと思われたくないからです。

（本当はあなたが好き、あなたに抱かれてもいいの。でも今ここでOKしちゃったら、軽い女だと思われそう。そんなのって嫌だわ）

という心理です。女性としては、軽く見られたくないから、一度は迷うふりをする、一筋縄ではいかないことを一度見せて駆け引きしたい心境なのです。そう言つて男がどう出てくるか。私のことをどこまで真剣なの？ と試しておきたいのです。

この言葉の2つめの心理は、行くか引くか、境目で迷っている状態ですね。もう一步踏み出せないのです。「どっちでもいいけど、私からは言えない」ということです。

ですから、「けど」が出たら、まずは押してみましよう。再び（大げさでなくごく自然に）再び褒めるのも一つの手です。迷っているということは、いわばどっちでもいいということですから、「やっぱり帰る」と言われないうちに、踏ん張りましよう。

・「もう少し時間をかけたい」

この返事は、彼女が真面目な性格であつて、あなたとの付き合いを継続したいことを真剣に考えていることを意味しています。したがって、このような言葉が出たら、素直に従いましよう。もう1軒誘つて粘る手もありますが、その日はあまりプッシュしてはいけません。むしろ引くぐらいで丁度いいのではないでしょうか。男女の友だちとしての距離感をつめていくほうがいいと私は思います。

男と女の関係だけで寄られても、女性って、体ばかり目的のように感じられて疲れてしまうのです。野球で言えば、ストレートだけじゃなくて時にはカーブやフォークボールも投げてほしいのです。

断った途端にそっけなくなる男なら、女だって願ひ下げです。いやそれどころか、行かなくてよかったとすら思うでしょう。気になる男であれば、今度は女性から寄っていくものです。

ですから、断ったあと、バーでリラックスしてコーヒーを飲んでもいいでしょう。その過程の会話から、男としての魅力も出るというものです。

それに関連して言えば、相手によってはお酒ではなく、夜カフェでもいいかもしれませんね。カフェなら下心ありと見なされるおそれもなさそうですから、女性を誘いやすいというメリットもあります。

ただし、仮に彼女の返事がNGであったとしても、そこで諦めることはありません。最後に、女性のさりげないひと言を見逃してはいけないことを付け加えておきます。

例えば、「もう少し時間をかけたい」と言われたとして、帰りぎわに彼女が、

「今日は楽しかったです」

というのは社交辞令としてありますが、

「今日はありがとう。また、誘ってください」

という場合では、そのニュアンスはかなり違ってきます。

さらには、飲んでいる途中の会話で、「いい人いるんですか？」という女性からの質問があったとして、もちろん質問の主旨はそれとおりののですが、やはり言葉の周辺には大切な本音が隠されているものなのです。例えば、あなたがその質問に対して、「いないよ」と言っただけとして、彼女が、「そうなんですか」とだけいう場合と、「そうなんですか。いつからいないんですか」という場合では、そこに表れている思いの強さが違ってきます。

男と女の距離関係って、難しいですね。でも難しいと同時に、これらは恋愛の醍醐味だいごみでもあり楽しさでもあるはずですよ。しかもこれは、仕事や友人との会話を注意深く聞くことで訓練できます。是非、テクニクをマスターしてほしいと思います。

イエスと言わせる会話術

女性が明らかに「ノー」のしぐさを出しているなら仕方ありませんが、どっちつかずの場合は、「カラオケだけでも」とか「夜景の綺麗な部屋があるから」という理由で誘ってみるのも、一つの戦略です。

そこで女性がついてきた場合、彼女の心理を理解していますか？ 女性はこういいうとき、「エッチするために来たんじゃないから」と考えます。心理学で言う「合理化」ですね。

もちろん少しの期待や不安と、その気もないわけではないのですが、そう考えることで自分なりに言い訳をしているのです。その言い訳は、たとえ辻褄つじつまが合わなくてもいいのです。彼女が自分を納得させる方法ですから。辻褄つじつまが合えばなおいいのです。

そしてあなたが、ホテルに入ったあとで彼女を抱いても、彼女はその言い訳によって自らを納得させることができます。「エッチするためにホテルに入ったのじゃないわ。結局しちゃったけど、私はしないつもりだった」と。

またその後、彼女があなたを責めることは決してないでしょう。大人の女性ですから、その程度の予感を持っています。要は、自分なりの言い訳ができていればいいのです。

つまりこれで分かることは、少しずつ既成事実を積み重ねてしまうのも一つの方法であるということです。あるいは、「イエスセット法」で「はい」を連続して言わせたあとで誘う方法もあります。

「お酒、美味しかったね」

「はい」

「楽しかったよ」

「はい、私も」

「ホテル、いい？」

「はい」

という具合。

こんなにうまくいくことはなかなかないのですが、「はい」のあとは「はい」と言いやすくなるのが人間心理。これはモノを買わせるときのセールストークでもあります。

ポジショニングはゾーンデیفエンスで

女性をベッドに誘うにあたっては、全身全霊を傾けて知恵を絞らねばなりません。そこで、実に細かいテクニックですが、読めば「なるほど」と思われることをお教えしましょう。1つめはバーで座る位置、もう1つは注文する料理についてです。

まず「ゾーンデیفエンス」。これは、バーで座る位置（ゾーン）で、自分達と他者を遮断する（デیفエンス）することです。これを作ればバーの中で2人きりの空間ができますし、周囲の目を気にすることもありません。具体的には、女性の利き腕の反対側に座るといいでしょう。何故なら多くの人は右利きですから、彼女が飲み物を持ったときに、彼女の腕が2人の間を遮さへぎることがありません。しかし何気なく彼女を左に座らせたとなると、彼女がグラスを持ったたびに腕が邪魔をすることになります。あなたは左手だつて持てますよね。

それにカウンター席というのは、視線や体の向きが同じですから、親近感が持てる位置関係です。2人で飲食するときに一番いいのは90度の位置（四角いテーブルなら隣り合った面）に座ることですが、距離は開いてしましますね。カウンターではそれを防ぐことができます。

ただ、当たり前のことですが、男性側の腕で頬杖をついている女性は望み薄です。脚を組んでいる場合は、つま先の位置をあまり気にする必要はなさそうです。男性を気に入ったら、女性は彼のほうに体を向けます。と言うことは、相手がいる方向についてたら、盾（ガード）に違いありません。

細かいことを言い始めるときりがありませんが、飲み物を置く位置も関係します。真ん中に置けば手が触れたりしますし、2人でシェアすることもあるでしょう。基本はどうかと考えれば、男性は常に女性を気遣うということに尽きます。

続いて、ゾーンディフェンスで囲いを作ったら、あとは女性をリラックスさせることに努めましょう。バーでは照明が暗めで静かな音楽が流れていますが、そこで「いかにも」な話をするよりは、リラックスさせて彼女のガードを外させることも大切です。だって、あと少しなのですから。

そこでお勧めなのは、動物のおもしろ動画です。ユーチューブをはじめとした動画サイトで検索すればたくさんヒットしますから、それを2人で顔を並べて見るのです。もちろん、彼女が猫好きなら猫の動画、犬が好きなら犬の動画を中心に。ハプニング画像集などのまとめサイトも面白いですね。

肩を並べ、おもしろ動画を見て笑っているうちに、彼女の心は酔いと楽しさに満ちてくるでしょう。特にオススメは猫の動画。仰向けで寝ている猫・はさまった猫・びっくりして飛び上がる猫・甘える猫などは、いずれも非常に可愛いものです。おおいに盛り上がるでしょう。

こうして同じ空間で同じ愉悦に満ちた時間を過ごしたら、今度は「動物で例えると、どんな男性がタイプ？」と尋ねてみてはいかがでしょう。実は猫という動物は、孤高でいながら甘えん坊という相反した性格を持っているので、そこで彼女が「甘えさせてくれる人が好き」と言っても「甘えられる人が好き」と言っても、猫に例えて話を続けることができます。

要は、動画をネタにしながら、女性の心をリラックスさせ、自分を動物に例えて話を引き寄せてしまうことです。

食事と性欲の関係

続いて大切なのは、バーで頼む食事（つまみ）です。結論を先に言うと、頼みすぎないことです。と言うのも、満腹中枢と性欲は相関関係にあるからであって、おつまみでお腹いっぱいになったら、女性はそれだけで満足してしまうからです。

バーのメニューを思い浮かべてみましょう。一番重いのがたぶん、ピザやイカリング、から揚げです。1軒目で食べたものにもありますが、とにかく、がつつりメニューは性欲のためにはよくありません。

それから飲み物も、ビールだとすぐにお腹一杯になってしまいます。それよりは、量が少なめのカクテルがお勧めですね。男性ならウイスキーのオンザロックやストレートがいいと思います。

それから、味覚と性欲についてもちよつと触れておきましょう。満腹になると性欲も満たされてしまうことはすでに述べましたが、彼女をその気にさせる味とは何でしょうか。

お分かりですよ。甘味です。それも、高級チョコレートのとろけるような甘さ。幸いなことに、バーのおつまみにはチョコもあることでしょう。チョコとはとても便利なおつまみで、手でつまんで食べることができますし、甘い香り、口の粘膜に貼り付いて溶ける甘さは、セクシャルな気分も盛り上げて誘淫効果も期待できるものです。

実は日本人は昔から、季節の変わり目やお祝い事に甘いものを食べることで、自然の恵に感謝し、行事の雰囲気盛り上げてきたのです。

お正月、ひな祭り、端午の節句、お彼岸、クリスマスなどなど。甘いものを食べると、子供のみならず幸せな気分になれますよね。それを応用するのです。あなたはここまで彼女を上手にリードし、もう少しというところまで来ているのですから、ここは高級チョコレートで彼女の心も溶かしてしましましょう！

実はチョコには、脳内ホルモン「フェニール・エチル・アミン」に似た物質が含まれていることが分かっています。これは性欲も高めてくれるそうですから、チョコの力を借りない手はありませんね。

エスコートひとつで女性は無れる

ここまでは、男性の考え方、および女性の考え方や心理・しぐさ・行動などを考察してきました。この章のタイトル「失敗しない誘い方」に必要なものは、もう1つあります。それは、お店を出たあと、いかにスマートに行動するかです。

UBER（ウーバー）というアプリをご存知でしょうか。アメリカをはじめとした先進諸国で先行開始されたサービスで、専用アプリをダウンロードしておけば、自分が必要とする日時にハイヤーをドア・トゥ・ドアで呼べるサービスです。今ではPCでの操作も可能で、しかも電話をかけることも現金の支払いも不要です（あらかじめクレジットカード番号等を入力しておくのです）。日本ではまだ東京などでしか利用できませんが、やがて利用範囲は各都市に広がっていくことでしょう。

これを利用すれば、お店を出たらすぐにハイヤーが待っているわけであって、彼女を待たせることも歩かせることもありません。

すなわちこれは、女性をスマートにエスコートする一例であって、女性の目線からすれば、「これだけ私のことを考えてくれている」と感じるものです。

さらには、お店を出たあとにホテルまで歩いていたり、また特に寒い冬など、外に出て寒風に吹かれた途端に酔いが冷めてしまい「やっぱ帰ります」なんてこともあり得ますが、UBERを利用すれば、そんな不安定要素を排除することができますよね。雪や雨の日でも同様です。最初ぐらいいは格好つけましょう。

それに、もう一つ。内緒ですが、タクシーを呼ぶことで、女性に心理的圧迫を与えることができます。タクシーを呼んでしまったら、運転手さんも待たせているのですから、男性側プラスタクシードライバーのプレッシャーも与えることができるのです。これにより、より「NO」といえない状況を作れます。タクシーの運賃は、決して安いものではありませんが、こうした効果も期待できます。ぜひ、有効に活用してください。

女性を白けさせてはいけない

それから、彼女が暗にOKサインを出している場合、UBERかどうかでないかは別問題として、「じゃ、とりあえずホテル行こう」はNGワードですから、注意して下さいね。前にも書いたように、女性にとってのセックスとは男性と

時間を一緒にした結果であって、目的ではありません。しかし「とりあえず」という言葉には「まずは」というニュアンスも含まれていますので、そう言った途端、女性はあなたが体目的であることを瞬時に察してしまうのです。

行き先がラブホテルというのも同じことです。ここは、行為を「する」ための場所ですから、それまであなたが彼女を上手にエスコートしてきたとしても、彼女は途端に白けてしまいます。

ではどこがいいかと言うと、やはりシティホテルでしょう。そのためには下準備も必要です。飲みに行ったあとであれば、UBERの可能エリアであるかどうか、歩くのであればお店からの距離、実際に歩いてみてどうか、歩道の状況はどうか、ハイヒールで歩けるか、さらにはロビーや従業員の雰囲気、夜景は綺麗か、交通アクセス、翌日のアミューズメント施設など……すべきことはたくさんあります。

それもこれも、女性をスマートにエスコートするための方法なのです。女性が男性と初めて飲みに行くとき、男としてのエンターテイナーぶり、会話の楽しさが気になることは前に解説しました。同時に、その後のエスコートが洗練されていれば、きっと彼女はタクシーの中でカラダの中心を湿らせてしまうことでしょう。

それだけで？　と思われるかもしれませんが、本当なんです。男性って視覚だけで興奮しますよね。男性向けのグラビア雑誌やネット動画が相変わらず人気があるのが、その証拠です。

でも女性が興奮する要因は、1つ目は場の雰囲気、2つ目は優しいボディタッチなんです。でもボディタッチというセカンドステージに到達するためには、ファーストステージである雰囲気作りをクリアしなければなりません。あなたが真に彼女を想いエスコートすれば、「私のことをそこまで」と感激してしまうに違いありません。

あなたの感性を高めるには

女性を上手に誘うには、表情や会話に隠された真意を読み解くことが肝心ですが、そのベースとなるものは、知識です。それは、女心に関する知識に他なりません。それを最も有効かつ適格に養うための方法は、恋愛小説をたくさん読むことです。それも、官能小説ではなく、普通の恋愛小説でいいのです。

女性作家が書いた小説もいいですが、私がお勧めなのは、2014年に亡くなった渡辺淳一作品です。

彼の代表作は作家生活の後期に書かれた「失楽園」ですが、初期の作品では可憐な女性が恋心に揺れる様子が美しい北海道を舞台として書かれています。なかでも『阿寒に果つ』や『流水への旅』には、全編を通して静かな北国の情緒が漂っています。

『化粧』や『化身』では、女性が男に恋をし、時に翻弄されながらも強く生きる姿が描かれています。文体は、難しくなく読みやすく、また彼の小説は、「こんなことがあったらいいな」と思われるもので、小説ではありますが、いわば男の願望を具現化したものが多いのです。

女性作家では唯川恵さんの作品もお勧めです。彼女の作品には、若い女性の目線で恋愛が書かれています。

また話題の恋愛小説を読むことは、お酒の席で話のネタにもなりますから、一石二鳥ですね。

「最近、こういう本を読んでね」と会話を始めれば、彼女も身を乗り出してくるかもしれません。そこで作中の女性について話題にすれば、同感したりしなかったり……ちよつとアカデミックなお酒にもなりそうですよね。

6つの具体的な誘い言葉

最後に、具体的な誘いの言葉を幾つかあげてみます。どれを使うかは、彼女の性格やその時の雰囲気など、TPOに合わせてする必要がありますよね。ただ言えることは、たくさんのパターンを知っておけば臨機応変に対応できるということです。

・「もつと一緒にいたい」

取りようによつてはいろいろな意味に聞こえる言葉ですが、彼女があなたに気があれば、そこでOKしてくれるはずです。

・「夜景の綺麗なところがあるんだ」

感受性の強い女性なら分かってくれますが、ホテルへ行こう、とはあまり聞こえない場合があります。「夜景の綺麗な部屋があるんだ」のほうがよさそうです。

・「今夜、泊まっていけないか？」「君と朝まで過ごしたい」

かなりストレートな言い方ですから、彼女の様子を見て絶対の自信を持てればこの言葉でいいと思います。

・君を抱きたい

もつとストレートな表現です。言うには勇気が要りますが、「うん」と言われたときの男性は非常に嬉しいと思います。耳元に口を寄せて、小声で囁くと効果大かもしれません。

それから、ちよつと変化球の誘い方を2つ。

・「俺のこと、好きでしょ」

真剣な顔でこう言うと、ほとんどの女性は吹き出してしまいうでしょう。でも、その笑いが狙いです。笑って、それまでの微妙な駆け引きのテンションが一気に下がり、リラクスマードになります。きっと彼女は「うん、好きだよ」とか「こういう面白いところがいいわよね」と言うと思います。そこで、「朝まで一緒にいたいな」と言えば、ホテルへのハードルも下がるというものです。

ただし、どんなに展開がもどかしくても、「俺のこと、好きなの？」という言葉は、間違っても発してはなりません。これら2つの言葉は、内容は似ていますが効果は全く違います。それぞれ裏に隠れているのは、前者は「もつと仲良くしたい」であるのに対し、後者は「寝るのか寝ないのか、早く決めろよ」ということに他なりませんから。

大切な局面では、言葉の微妙なニュアンスにも要注意です。

・「帰ろうか」

これは、考えようによってはズルイ言葉です。もちろんあなたには、帰ろうという気持ちはさらさらなくて、彼女を抱きたい気持ちで一杯なのだけれど、「帰ろう」と言うことで彼女の反応を見るのです。そこで彼女がさっぱりとした表情で「はい」と言えば望みなし、迷ったそぶりを見せれば、あなたの押し次第です。彼女が戸惑った表情で「帰るんですか？」と言えばしめたものです。彼女が酔って感情表現がストレートになっていけば、「いや、帰らない」と言うに違いありません。こうなればもう、据え膳状態ですよね。

が、この言葉は、男が安全地帯にいて、キャスティングボード（決定権）を彼女に預けてしまいうという意味で、私はあまりお勧めしません。敏感な女性なら、「この人、私を試してるんだわ」と気づいてしまいうに違いありません。

勇気を持つとう

ここまで読んであなたは、女性の「したい」を見抜くに必要なテクニックと知識をマスターしたと思います。

しかしながら、女性を前にしてそれらをどう使いこなすかは、あなた次第です。わけても、その女性と初めてベッドインするかも知れない会話や駆け引きは、女性に慣れた方でも緊張するものです。でも、肝心なところで躊躇ちゅうちよしてしまつては、自ら未来を閉ざしてしまいうようなもの。

「ここぞ断られちゃったら嫌だな」とか「カッコ悪いし」と思っていたら、先はないですよ。

何より初めに述べたように、彼女はあなたの誘いを待っているかもしれないのです。それをどう読み解くかは、そのあとの章で解説してきたとおりです。それを実践に生かせば、どう見てもNGという場合を除き、きっと成功するに違いないありません。

何よりいけないことは、彼女が身構えているのに、あなたに一步踏み出す勇気がないために誘わないことです。

あなたがガガーリンやアームストロング船長であるとは言いませんが（笑）、一步踏み出す勇気を持ちましょう。あなたがその勇気を持たない限り、あなたと彼女が結ばれることはないのです。同じ後悔するなら、「誘えばよかった」より、「今回はだめだったから、次に期待しよう」という経緯のほうが、ずっといいですよ。

がんばって下さいね！

〈サインと作法〉

- 褒めるときはパーツをはじめ、具体的に褒める
- 化粧を褒めてはいけない
- アクセサリーを外すということは、服を脱ぐのと同義
- 押しが必要と判断したら、ぐんぐん押そう
- 今日はダメだと悟ったら、柔らかい雰囲気ですラックスして大人の男の器を見せよう
- 会話の微妙なニュアンスを見逃すな
- 3回連続で「イエス」と言わせた後で誘おう
- ゾーンデイフェンスで2人きりの空間を演出しよう
- 女性の左側に座ろう（女性が左利きの場合は右側）
- 局面を打破するには、断定的な言葉も効果的
- チョコの甘さで、女性の心も溶かしてしまおう
- 初めてのエスコートは、スマートさを優先しよう
- タクシーの運転手を味方につけよう
- 「とりあえず」は禁句
- ラブホテルではなくシティホテルを予約しよう
- 恋愛小説を読んで、女心の解説に役立てよう
- 敵前逃亡する男にチャンスはない
- 同じ後悔するなら、誘わないより、誘って後悔しよう

あとがき 失敗を恐れずにチャレンジしよう

女性と、それも意気投合して初めて2人きりでお酒を飲む約束をするのって、まずは飲みに誘う段階からドキドキわくわくしますよね。そして実際にお酒を飲んで会話も盛り上がれば、とても楽しい時間を過ごせます。

そんなあなたは、一次予選を突破したということですから、まずは自分に自信を持ちましょう。あなたの役割は、何より彼女をエスコートし、楽しませることであって、そうすれば女性は自然に「したい」と感じてくるはず。その過程でここに解説したテクニックを駆使すれば、ベッドインまでも自然に持ち込めると思います。

人間の男も女も、他の多くの動物と同様、オスが自分のいいところを見せてメスを獲得することには変わりありません。人の精神の働きは動物ほど単純ではないので、彼女の心を透かし見ることは難しいかもしれませんが、心は言葉だけではなく、必ず表情や行動に出るものですから、よく観察すればヒントは隠されているものです。

女性って、自分に自信を持って堂々としている男性が大好きなんです。そんな人と一緒に安心して楽しければ、自然と抱かれたと思うし、それは表にも表れるものです。

自信を持って、彼女をエスコートして下さいね。

あなたに素敵な夜が訪れますように。

お知らせ

本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信することを禁止します。
作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。

また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

著者

小室友里（こむろ・ゆり）

1995年、19歳でグラビアモデルとしてデビュー。90年代を代表するトップAV女優として君臨。「20世紀最後のAV女優」と呼ばれている。

引退後は舞台やOVA、海外作品を含む映画にも出演し、女優業の幅を広げる傍ら、ライターとして雑誌や新聞にコラム、セックス関連のお悩み相談などを寄稿。インディーズCDデビューも果たし、現在もボーカリストとしてレコーディングやライブを行うなど、多方面に勢力的な活躍をしている。

2014年、これまでの経験と知識を活かし、夜の性相談員（セクシャルアドバイザー）としての活動を本格的に開始。セックスアピール、セックステクニク、セックスコミュニケーション（心の繋がり）といった男女の性に関するアドバイスは、経験と知識に裏打ちされた説得力があり、分かりやすいと定評。モットーは「セックスとはお互いを知ること」。

小室友里 公式サイト

<http://www.komuro-yuri.com/>

〈タイトル〉

女の「したい」を見抜く技術

—— 会話・しぐさでわかる38のサインと作法

〈発行日〉

2015年7月12日

©Yuri Komuro+Mayumi Futamatsu+CLAP

〈企画・制作〉

C L A P

■ ホームページ

<http://www.clapbooks.com/>

■ フェイスブック

<https://www.facebook.com/clapbooks>

■ ツイッター

<https://twitter.com/clapbooks>

■ 新刊や割引キャンペーンなどのお知らせを受け取りたい方は、こちらからメルマガ登録！

http://www.clapbooks.com/?page_id=843